

相談員企画型出張サービス実施報告書

1. 企画名：和歌山県国際交流センターでのネパールチャリティイベントにて講演
※出張形態：講演

2. 出張者：井上理子（(公財)PHD協会職員）

3. 実施日：2015年5月17日（日）13：30～15：30

場 所：和歌山県国際交流センター 交流ラウンジ
（和歌山県和歌山市手平2-1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛8F）

5. 対象者：イベントの参加者 約100名

6. 実施報告

① 概要：

2015年5月24に起こったマグニチュード7.8ネパール中部大震災を受けて、和歌山県国際交流センターが主催するネパールチャリティイベントでの講演依頼があった。講演依頼の具体的な内容はネパールで大きな地震が起こり、市民の関心も高い様子を受けてチャリティイベントを実施し、募金を募ると共に緊急救援活動をしている国際NGOの活動についてや、NGOの役割や理念など外国事情に知ってもらい、国際協力について考える機会にしたいとの依頼であった。

当会もネパール中部地震への救援活動を行っているため、今回の地震の概要や被害状況など、基本情報を紹介しながら現地で緊急救援活動に取り組む国際NGOの活動について話をした。また、当会のネパールの研修生も被災しており、そこでの救援活動を例に挙げてNGO活動や役割について丁寧に伝えるように心がけた。また、緊急救援では時間が経つにつれて必要とされる物資が変わることや、首都が被害を受けているため物資を調達するための経路の確保についても説明した。

② 所感等：

和歌山県の国際交流センターは、アクセスが不便であるため集客が懸念されたが、実際は在日外国人を含むたくさんの方が参加しており、ネパール地震への関心の高さが伺えた。また、在日ネパール人の方は地震発生時にネパールに滞在していた。このため彼らとの質疑応答は双方向の交流となり、来場者は、国際協力への関心が高まった。同講演を通じて、参加者が行動を起こすきっかけとなれば幸いであると考えます。

③ 参加者：イベント参加者 100名

7. 添付画像：別紙に当日の様子を2枚添付



「和歌山県国際交流センターでのネパールチャリティイベントにて講演」の様子①・②
国際協力及びNGO相談員制度についての説明をしているところ。

平成 27年 5月 25日

NGO相談員 第1回出張サービス報告

(i) 団体名・出張サービス企画名・実施日時・場所

1. 団体名： 特定非営利活動法人 難民支援協会
2. 企画名：
国際フェスタ CHIBA における関東相談員団体合同相談員ブース対応（複数団体による合同出張サービス）
3. 出張者氏名：松岡佳奈子、JANIC 伊藤衆子
4. 依頼元／主催等団体名：（公財）ちば国際コンベンションビューロー
5. 実施日時：平成27年5月24日 10時～15時
6. 実施場所：神田外語大学

(ii) 実施内容：

NGO 相談員関東団体が合同で国際協カイベントに NGO 相談員ブースを設置し、国際協力に関心を持つ来場者に対して、多様な団体の多様な事業経験を持つ相談担当者が相談に対応した。

多様な経験と事業内容を有する複数団体の複数相談員担当者がブース対応を行うことで、より多くの相談に対応できるようにするため、また幅広い相談にも即時に対応できるようにするため、関東ブロックの複数相談員団体（JAR、JANIC）の担当者による合同出張サービスとして実施した。

具体的には、JANIC が作成した国際協力 NGO ガイドブックや、古本寄付に関するパンフレットをブース訪問者に配布しながら、NGO の海外事業の活動広報や古本寄付をはじめとする多様な寄付の方法についての話を全般的に行った。訪問者からより詳細な相談が出てきた際にはそれに応じた。

(iii) 集客人数または相談対応件数

集客人数：

ブース立ち寄り：30人（一般、中学生、教員、NPO 職員、退職者等）：国際協力 NGO ガイドブックを通じた国際協力 NGO の活動紹介や、古本寄付チラシを基にした多様な寄付の方法についての説明を行った。

うち、詳細な相談対応5件。

- ①退職者1名：法人格の取得について（後日、より詳細な相談対応予定）
- ②中学生2名と教員1名：NGO や在日難民の状況・制度に関する全般的な相談、出張サービスに関する説明（後日、出張サービス相談予定）
- ③通訳者（元国家公務員）1名：在日難民の状況について、偽装難民疑惑について
- ④行政書士：外国人支援について
- ⑤NGO ボランティア：在日難民に関する全般的状況、制度について

(iv) 所感および効果等

イベントには、一般の方以外にも、子どもや学生も多く参加していて、国際協力について学ぼう、学ばせようという子ども・保護者・教員の熱心さが感じられた。

その中でも特に興味深かったのは、中学生と教員が相談員ブースを訪問したことであった。国際コースを作ったばかりの地元中学校の教員が、プログラムの一環として国際協力や NGO に関する学習をさせているということで、同コースの中学生数名を連れてイベントを回りながら学生に聞き取りをさせていた。相談員ブースでは、中学生の学習のために、学生に NGO に関する質問をさせてくれと相談してきた。相談の中では、NGO とは？日本の NGO の数は？主な活動地は？等の熱心な質問が続いた（残念ながら相談員 1 名が退席していたため、本対応の写真は取れなかったが）。相談対応後、さらに知りたいことがあれば相談員に連絡してほしい、また必要があれば中学校に出張サービスを実施することも可能ということを伝え、教員よりぜひという反応が返ってきた。

(v) 写真



以上